

「地域Society 5.0」推進に向けた調査・研究

1. 事業目的・・・IT利活用による地域創生に向けた研究・マーケティング等の推進

➤ 地域経済の活性化の視点

地域経済活性化への取り組みは、“需要を増やし、生産性(地域としての)を高める”ことである。その中心にあるイノベーションは、新たなビジネスモデルやマーケティングを前提としたものであり、各企業や自治体のイノベーションへの積極的な取り組みが重要である。

➤ 地域コミュニティの活性化の視点

地域において様々な社会問題が顕在化・深刻化する中で、地域自らが地域課題を認識・共有し、それらを自主的・主体的に解決する力“地域共生力”の醸成・向上を図っていく必要がある。基盤となるのは、地域コミュニティの活性化であり、そのための施策を実行していく。(地域住民自らが課題解決していくことがポイント)

2. 事業概要と成果(地域情報化部会)

2023年度の活動は、計5回のセッションを開催し、内1回は、岩手県庁の全面的な協力とコラボレーションによって、岩手県内各所(陸前高田地域、雫石地域、盛岡)を訪問し、各地域の活性化に向けた様々な取り組みについて伺うとともに、岩手県庁との意見交換の場を設けた。今後もIT利活用による地域活性化及び地域産業活性化に向けた産・学・官の取り組み事例のスタディとディスカッション及び「デジタル田園都市国家構想」の動向を踏まえた活動を行っていく予定。

- ① 「企業のためのDX戦略～地方創生に向けた様々な取り組み～」(クラウドサービス推進機構 理事長 松島 桂樹 氏)
- ② 「働き方改革とICTの取り組み」(岩館電気株式会社 代表取締役 平野喜英 氏)
- ③ 「スマートシティ推進・DX推進支援の取り組みについて」(株式会社Liquitous CEO 栗本拓幸 氏)
- ④ 「岩手セッション～地方創生(地域活性化)の検証」(岩手県庁との連携による現地視察)
- ⑤ 「Microsoftにおける社会課題解決に向けたテクノロジー研究の紹介」(日本マイクロソフト株式会社 技術統括室 千葉慎二氏)

